

ポカミスを防ぐ“教え方・守らせ方”実践研修



どこの会社でも、できるだけ短時間で初心者にはベテランのノウハウを確実に伝承する指導法を模索しています。また、「どうやって標準を遵守させるか」に頭を悩ませています。部下指導を担当される皆様に、ノウハウ(暗黙知)の形式知化と新しい指導法を紹介します。

セミナープログラム(10:00～16:00)

<p>1. ポカミス対策の考え方</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 発生メカニズム(2) 原因としての2つの“あいまいさ”(3) 13の心理メカニズムとポカミス事例(4) ポカミスの攻略法 <p>2. 誰でも簡単にできる10の未然防止法</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 危険因子対策(2) 作業リズムの崩れ対策(3) 個人判断対策(4) 未熟練対策 <p>3. ポカミス防止の視点から考える標準化とその維持</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 標準のレベルアップ(EHMモデル)(2) 標準の守らせ方 <p>教育訓練・管理活動・全社活動の事例紹介</p>	<p>4. 教える教科書の作成(演習)</p> <p>～ 現在使用中の標準類を、OJTで部下に教える教科書に修正・改良する実務演習 ～</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 教える教科書の必要性(2) 作業分解シートの作成(3) 教える教科書への展開 <p>5. 仕事の教え方ビデオ学習</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 教え方の標準化(2) 難しい作業のOJT(教え方のモデルビデオ視聴) <p>6. 質疑応答</p>
---	---

これまで製造現場では、継続雇用を原則として、作業手順書の主体は、ある程度のことはほとんどできる正社員(ベテラン)を対象に、スタッフ主導で作られてきました。しかし、図面や標準類を見ただけでは完全な製品はできません。そこには、熟練者が長年試行錯誤して積み上げてきたノウハウ(暗黙知)が欠けているからです。

製造現場の標準類は監督者と熟練者が一緒に作り、会社の共有財産とすべき重要なものです。また、熟練者のノウハウはできるだけ短時間で、確実に伝承するため、教え方も標準化すべきです。教え方の個人差をなくすためには、**教える人のテキストとなる“教える教科書”**が必要です。

ポカミスの40%は標準が遵守されなかったことにより発生しています。(経験値)
作業する人に「標準は守らなければならない」という自己管理意識を育てることは、きちんと教えることから始まります。さまざまな会社で取り組まれている「**教育訓練・管理活動・全社活動**」の事例をご紹介します。

本セミナーの対象者

管理監督者として部下の指導にあたる方(業種は問いません)

演習で使用しますので、現在OJTに使用されている作業手順書などをできるだけご持参ください。
なお、ご持参いただいた標準類は、講師をはじめ他の受講者に見せたり、発表したりすることはございませんので、念のため申し添えます。